

台東区青少年育成

地区委員会だより

発行：台東区 区民部 子育て・若者支援課 〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6 電話 03-5246-1341

青少年育成各地区委員会の紹介

青少年育成各地区委員会の活動をより多くの方に知っていただくため、それぞれの地区委員会を紹介します。

4年ぶりにバスハイク復活

竹町地区委員会

昨年5月、新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移行したため、4年ぶりにフルスペックで行事を復活させました。

7月23日に「親子科学探検隊」と称して上野の科学博物館を見学しました。9月10日の「青少年フェスティバル下町つま祭り」では、竹町地区のブースで「わなげ」「しゃてき」を子供たちに提供できました。10月22日には待望のバスハイクで大谷資料館とバンダイミュージアムを訪問しました。

今年は昨年の反省点をフィードバックして、更に皆さんに楽しんでもいただく企画を提供できるようにしていきますね。



バンダイミュージアムにて

幅広い世代の交流を目指して

東上野地区委員会

東上野地区委員会では、毎年8月に「ファミリー・レクリエーション（バスハイク）」、10月に「東上野地区大運動会」、2月には「ボウリング大会」の事業を開催しています。

昨年8月に実施したファミリー・レクリエーションは、「ムーミンバレーパーク」に行きました。ショーを見たり、散策したりと、子供も大人も夏の一日を楽しく過ごしました。

引き続きこうした活動を通して、世代を超えた交流を大切にしながら、子供たちが地域の中で、のびのびと成長していけるよう支援していきたいと思います。



ファミリー・レクリエーション

元気いっぱいの子供たち

上野地区委員会

上野地区では、今年度は6月16日に【さくらんぼ狩りとパフェ作り体験】バスツアーを実施しました。

バスツアーは上野地区の人気のイベントで、毎回多数の応募があり今年も抽選となっていました。参加された家族からは楽しい一日でしたとの声を多数頂きました。出発前、子供たちに『今日は何個のさくらんぼ食べる?』と問うと『50個!』『100個!』との元気な声が上がっていました。当日は、降雨が心配されましたが、まさかの大晴天。きっと子供たちのパワーだったと思っています。

本年は子供たちの活動の幅もほぼ戻ってきているかと思っています。今後もその手助けが出来ればと地区委員一同考えております。



さくらんぼ狩りとパフェ作り体験バスツアー

施設見学会の実施

入谷地区委員会

入谷地区委員会では、令和6年2月に、各町会の青少年活動の指導者育成事業として、さいたま市の鉄道博物館と小江戸と呼ばれる蔵の街川越の見学会を実施いたしました。26名の参加をいただき、鉄道博物館では、実際の車両の展示やテーマごとの体験展示に興味深く見学しました。また、川越では、江戸の情緒を残す町並みを歩いて見学することで、台東区とは異なる江戸の香りを感じることができたと思います。

今年度も、各町会青少年部の方々と協力し合い、有意義で、実りある青少年育成事業を実施していきたいと思っています。



入谷地区の施設見学会

復活！霧ヶ峰スキー教室

金杉地区委員会

台東区北部に位置する金杉地区は、古くから交通の要所として栄え、今でも人情味にあふれ下町色の強い地域です。

令和5年度は、コロナ禍での自粛も解除され、ほぼ通常の事業を開催することができました。なかでも、宿泊を伴うスキー教室が実に5年ぶりに開催されることは、地区委員一同大変喜んでおりました。しかしながら、記録的な暖冬による雪不足により、開催地である霧ヶ峰スキー場より今シーズン閉鎖の知らせが…。

一時は開催が危ぶまれましたが、スキーができなくとも開催したいというスタッフの熱意、保護者の方の理解、そしてなにより子供たちの熱い要望により、「スキーをしないスキー教室」として、霧ヶ峰学園へ行ってきました。グラウンドでの雪遊び、雪原の中でのハイキング、学園内でのレクリエーション、極寒の中の肝試し…、子供たちにとってもスタッフにとっても、いい思い出となる事業となりました。

今年度も2月末に開催予定です。今度こそ皆でスキーを楽しめることを願っています。

中学生がすごい！

谷中地区委員会

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、多くの行事を開催できました。

ここまで3年以上の子供たちの我慢を思うと、地域の行事を再開し、子供たちの笑顔が見られたことは本当に良かったです。

恒例のスキー・スノボ教室は、残念ながら雪不足のため中止となりましたが、代替行事として開催した「谷中こども動物園」では、初音の森にポニーをはじめたくさんの動物達がやってきて、入場待ちが出るほどの大盛況でした。

休止していた行事を再開することは想像以上にエネルギーが必要でしたが、我々と一緒になって地元、上野中学校の生徒達が各行事を盛り上げてくれました。沢山の行事にボランティアとして参加、模擬店スタッフをはじめ、食事の配膳係やレクリエーションなど、率先して幼稚園児、小学生のお世話をしてくれました。自分の中学生時代を思うと、本当に「素晴らしい」の一言です。

大人が子供の笑顔のために一生懸命考え、実践し、子供たちは自分より年下の子の面倒をみていく、まさに青少年育成地区委員会の存在意義だと実感しました。

本年度も主催事業を中心に多くの行事を開催予定で、毎月、活発な会議を行っています。

沢山の皆様のご参加をお待ちしています。

地域で子供たちを育みたい

浅草橋地区委員会

子供たちもご家族も楽しめて、地域の想いを伝えるためにはどうすればいいのか。いろんな想いをカタチにしたい浅草橋地区委員会です。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類になり、制限のない活動が行われるようになりました。私たちもようやく活動ができるのだと、コロナ禍明けに相応しい行事として、11月に「秋まつり」の開催を決めました。

秋まつりは十数年前まで、各町会やPTAなどがゲームや飲食などを出店していた、賑わいのある行事でした。地区での様々な催しのため、秋まつりから離れており、過去の資料や記憶を頼りに、忘れたものは新たに築くなど再開するのは容易ではありませんでしたが、当日は天候に恵まれ、多くの子供たちと保護者や地域の皆様にお越しいただき、運営する側も一緒に、一日中笑い、動き回り、非常に満足したものになりました。

その他にも救命救急講習会を開催するなど地域を支える活動も行っております。私たちは青少年育成という冠を掲げていますが、子供たちから広がる地域のつながりが深まるよう願って活動しております。

いつまでも「わくわく」を！

浅草寿地区委員会

浅草寿地区では「親子の触れ合い」のテーマに沿った企画を立案・実施しています。コロナ禍が明けた昨年は、まず6月に沼津港深海水族館等を周るバスレクを実施しました。ただ、まだコロナの影響が残っていたのか、参加者も満員にはならず先行きに不安も感じました。しかし、今年1月に1泊2日で行った霧ヶ峰学園での雪遊びには、定員の3倍を超える応募がありました。内容もスキー場でのスキー体験の他、学園内では親子だけではなく、引率のメンバーを含めてのレクリエーション、グラウンドにおいて星空の観察などを行い、家族と地域の方との交流も深めることが出来たのではないかと思います。

これからも、子供たちが大人になった時に「地域の人たちとあそこに行ったなあ」と心に残るようなイベントを企画し、いつまでも浅草寿地区に住み続けたいと感じられる活動をしていきたいです。そしていつか青少年育成委員となって地域の子供たちを「わくわく」させてほしいと願っています。

笑顔あふれる地区を目指して

雷門地区委員会

雷門地区では小学生を対象としたイベントを企画・運営しています。本年も10月に隅田公園内でクイズやゲームにチャレンジする「オリエンテーリング」、12月には地区内の小学校の体育館にて「手作りポストカード教室(仮称)」を開催予定です。

どちらのイベントも駒形中学校ボランティア部の生徒さんや小中学校PTAにご協力頂き、安心安全に気を配りながら、お子さんたちが「楽しかった！」と笑顔になってくれるようなイベントを目指し委員一同知恵を出し合い準備を重ねています。どうぞよろしくお願いいたします。



年賀状作り教室

馬道地区大運動会

馬道地区委員会

馬道地区では、毎年10月に台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場にて「大運動会」を開催しています。

当運動会は、地域の町会青年部や小中学校のPTA等が協力して運営し、小さなお子様からご高齢の方まで楽しめる一大イベントとなっています。

メイン競技である綱引きや、大玉送りなどの団体種目、短距離走などの個人種目に加え、〇×クイズといった様々な競技があり、例年大いに盛り上がっています。

今年は5年ぶりの開催となっており、その分熱が入っております。多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。



馬道地区大運動会

初めてのボッチャ大会を開催！

清川地区委員会

清川地区では例年「親子バスレク」や「わくわく南極教室」をはじめ様々なイベントを行っています。昨年度は新規事業「第1回町会対抗 ENJOY！ボッチャきよかわCUP」を開催しました。清川地区内のスポーツ推進委員と協力し、独自ルールを策定する等より多くの人が楽しめるよう工夫を施しました。大会当日は17町会延べ123名の参加を頂き、会場のたなかスポーツプラザ体育館で熱戦がくり広げられました。好評につき今年度も第2回大会を開催致します。今後も各種イベントを成功させ、青少年健全育成のため委員一丸となり取り組んで参ります。



第1回町会対抗 ENJOY！ボッチャきよかわCUP

子どもの権利条約とは

「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。18歳未満の児童（子ども）を権利をもつ主体と位置づけ、おとなと同様ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定めています。

台東区では、子どもの自尊心を大切に、次代を担う子どもが安心して健やかに成長できる社会を目指し、様々な取り組みを実施していきます。

詳しくは（公財）日本ユニセフ協会のHPをご覧ください。

